

無断転載禁止

土木技術者女性の会

輪人

2006年 総会特別号

土木技術者女性の会

<会の目的>

1. 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい。
2. 土木界で働く女性技術者同士の知識の向上。
3. 女性にとって魅力ある、働きやすい土木界の環境作り。
4. 女性土木技術者の社会的評価の向上。
5. 土木技術者をめざす女性へのアドバイス。

<倫理規程>

会員は、会の目的を実現する際にあたって、下記の倫理規程を遵守するものとする。

1. 会員は、会の目的に沿って、各々の良識のもとに、正しく品位ある行動をする。
2. 会員は、所属組織を代表するものではなく個人の立場で会の活動に参加する。
3. 会員は、会の活動において、業務上の利益に結びつけるいかなる行動も行わない。

目 次

巻頭言

「参加すること」(関東地区前世話役 笹尾圭哉子)	 1
--------------------------	---------

特集1 第25回総会

総会概要	 2
1年にいちどの楽しみ(北海道地区 佐藤厚子)	 3
第25回土木技術者女性の会総会 議事要旨(関東地区 田村裕美)	 4
新役員紹介1 関西総会へ、おこしやす(関西地区世話役 三好葉子)	 7
活動の幅が広がってきた(中部地区 小畑敏子)	 8
分科会報告:「労働環境と健康」(関東地区 江森宝子)	 9
「土木業界における女性管理職と女性のマネジメント」(関東地区 田中真弓)	 10
「地域社会とコミュニティ」(北海道地区 河合菊子)	 11
現場見学会報告	 12
'06総会 見学会に行ってきました(関東地区 岡田阿礼)	 13
中央環状新宿線を歩く(関東地区 箱田裕子)	 14
新役員紹介2 (事務局 松本香澄)	 15

地区からの便り

北海道地区現場見学会報告(北海道地区 中山真貴子)	 16
出張先でのお勧めホテル(北海道地区 秋元ゆき子)	 17
北海道地区H17秋の勉強会報告(北海道地区 井上涼子)	 18
関東地区の新しい体制です	 19
中部地区の新年会(中部地区 小畑敏子)	 20
出張のとも ～名古屋は駅西が熱い～(関東地区 平永佐知子)	 20
関西17年度活動報告 及び 18年度活動計画(関西地区 三好葉子)	 21
お勧めホテルあれこれ…(関東地区 中村恭子)	 21
関西地区現場見学会報告(関西地区 古谷祥恵)	 22

特集2 お奨めの1冊

菜の花の沖(関西地区 小林千恵)	 23
湖水誕生(中部地区 所 靖子)	 24
『あさ／朝』『ゆう／夕』(北海道地区 辻 ゆう)	 25

事務局便り

事務局メンバーの主な業務の紹介	 26
郵便貯金口座を利用した「会費の自動引落システム」	 26

「参加すること」

関東地区前世話役 笹尾圭哉子

早いもので、関東地区世話役補佐を5年、世話役を5年2ヵ月、合計で10年が過ぎたことになる。少し振り返ってみると、入会のきっかけは、会社の先輩の中西さんに紹介されてのことで、入会してすぐに富士山の砂防工事の見学会に参加した。このときのことは、行きの新幹線のことから結構鮮明に覚えている。みんな本当に若くて、活発で、個性的だった。臆することなく意見を述べ、てきぱきと行動していた。今でも何人かの会話を覚えているし、そのときの様子が目に浮かぶ。当時の砂防事務所の所長が本会の会長の寺本さんで、それで見学会が実現したとのことだった。私はただただ感心することばかりで、圧倒されるような思いだった。

その後、見学会や勉強会、スキー旅行に飲み会など、楽しいことや少し面倒だと思うことなど、いろいろなことがあった。会での仲間の活動振りや働き方を見ているだけで刺激を受け、直接・間接的に技術者として社会人として鍛えられていったような気がする。今では私より若い人の方がはるかに多くなった。少しは先輩として支援できることがあればと思うが、この会の若い人はしっかり者が多く、逆に助けられることの方が多い。世話役としても補佐の人たちに助けられてやってこられた。

ちょうど世話役になった年に関東地区で総会があり、そして、今年の関東地区総会をもって任期満了となった。年に一度、会の行事のメインイベントである総会にまつわる出来事はたくさんある。担当幹事だったのにも関わらずうっかり寝過ごしてしまった補佐のときの失敗談や、世話役になり立てで総会を開催したときの頼りなさ、他地区の人たちとの交流、大規模な工事現場見学会など、次々に思い出される。世話役最後の仕事となった今年の総会は、社会人になりたての新しい会員と、しばらくぶりの昔からの会員の参加があり、久々に新鮮な気持ちになった。世話役としては最後だが、会として、これから新しいことが始まるように、私には感じられた。

ここ数年、会の活性化という大きな課題があり、私自身、どのように会に関わっていくのか、一会員として考えてきた。女性技術者同士の交流の場としての会の役割は、今後も変わらないだろう。ただ、個々の活動の場も増えてきている中で、会に何を求めていくのだろうか、と。答えは、おそらく「参加すること」そのものの中にあると思う。自分が主役の気持ちで参加し、その先にあるものが、求めるものではないだろうか。今年の総会では、そうした思いが一層強くなった。

現在、事務局の労により、事務のIT化が急速に進み、アドレス登録のある会員にとっては情報の受発信が容易になった。それだけ、主催者側としての手ごたえを感じやすくなるし、会員同士の顔も見えやすくなる条件が整ってきている。外への発信の体制もできつつあり、会としての新しい局面ができたように感じる。「参加すること」で、活動の幅が広がり、仕事でもプライベートでも、多くのことを得られるに違いない。これからも自分のやり方で積極的に関わりたいと思っている。若い人も経験豊富な人も一緒に参加していきましょう。

特集 1 第 25 回総会

第 25 回総会が、2006 年 6 月 16 日～17 日に開催されました。
今年、関東地区の担当です。特集 1 では、総会、分科会、現場見学会の報告を中心に、各地区からの参加者の感想をお届けします。

第 25 回 土木技術者女性の会総会

2006 年 6 月 16 日（金）

13:30 ～ 15:30 現場見学会
（大成建設代々木シールド作業所）

16:50 ～ 18:50 分科会

19:00 ～ 21:00 懇親会

2006 年 6 月 17 日（土）

9:00 ～ 11:00 総会

11:00 ～ 12:00 分科会報告



1年にいちどの楽しみ

北海道地区 佐藤厚子

毎年この総会がとても楽しみです。

お正月を過ぎたところから、今年はいつなのかな？場所はどこなのかな？特別な仕事が入らなければいいな・・・大抵のことは私がいなくても全く関係ないのですが、1年に1回か2回くらい私が職場や家にいた方が良くもあるのです・・・

会に入ってから総会に参加し、皆様にお会いするのをずっと楽しみにしてきました。

初めのうちは知っている人は誰もいなく（あたりまえですが）、ほとんど見学会と総会のみで帰っていましたが、そのうち、宴会に参加し、宿泊をともにし、同じお風呂に入っていると、だんだんと総会よりもこのお話し合いの方が楽しみになってきました—総会開催のため準備をされている方々、ごめんなさい—。

この年にいちどの総会で毎回思うことは、どうしてみなさん初めてあったときと何にも変わりがないのだろう？ということです。私が初めて参加したのは今から17年前（？）です。あのときは知らなかったのですが、おなかにいた息子は今、高校2年生です。そのときにお会いした人たちは、見た目は全くあのときのままのような気がします。この会の人は、何年かぶりにお会いしてもなぜかほとんど変わりありません。

また、あのとき今より少しは若かった私の母は、結構年になってしまいました。始めは子どものおもりのため一緒にくっついてきた母も、その後子どもが学校へ行き、ついてくる目的がはっきりしなくなっからは、女性の会にはついてこないもののその他の出張と一緒にいくようになりました。親孝行できるようになったのもこの会がきっかけです。

こう見えてもひとりで食堂にはいるのがとっても苦手なので、みなさんと一緒にごはんを食べたり、宴会に参加するのはとても楽しみです。おいしいものが食べられるし、その雰囲気も大好きです。それに、いろいろな人とお知り合いにもなれます。今年は、見学会と分科会があり、たくさんの方々とお知り合いになれました。日頃あまり女の人と話をすることがないので、この年に一度の会は私の楽しみなのです。

毎年いろいろな地区を回り、4年に1回は自分の所属する地区で総会が開催されています。それぞれの事情で参加できない方も、自分の所属する地区では参加しやすくなると思いますので、これはとても良いことだと思います。今後も続けましょう。

もう今から来年のことが楽しみです。それではまた、来年！！



第 25 回土木技術者女性の会総会 議事要旨

関東地区 田村裕美

平成 18 年度の総会を関東地区において開催しました。

6 月 16 日金曜日に現場見学会、分科会、懇親会を実施し、翌 17 日の総会は、赤坂にある鹿島建設のサンルーム風大会議室をお借りしました。

関東地区世話役の笹尾圭哉子さんの開会挨拶を皮切りに、佐藤（厚子）さんが会長挨拶を行い、総会を開催。

平成 17 年度活動報告 <>は報告者

項 目	概 要
役員会の報告 ＜島村＞	前回の総会後の役員会と今回の総会前役員会
事務局の報告 ＜佐藤（亜紀子）＞	・会員数は 144 名 ・会費の自動郵便振替手続きをした方は 40 名 ・「Civil Engineer への扉」の平成 17 年度販売実績は 268 部
各地区活動報告と会計報告	
北海道地区 ＜河合＞	・地区総会（H16 年度活動報告・会計報告、地区役員等交代、H17 年度活動計画、役員会報告） ・見学会 ・勉強会&忘年会
関東地区 ＜笹尾（圭）＞	・勉強会 ・女子学生との交流会及び講演会 ・新年会（関東地区次期役員選出、H18 年度総会について、H18 年度活動計画について）
中部地区 ＜小畑＞	・総会の開催 ・見学会 ・新年会
関西地区 ＜代理：時弘＞	役員会との共催で、見学会及び懇親会の企画検討を行った。
各ワーキンググループ活動報告	
坑内労働規制緩和 ＜須田＞	・アンケート調査表の作成 ・アンケート調査の実施 ・調査結果の取りまとめ ・坑内労働規制緩和の動向に関する情報収集
就職支援パンフレット作成 ＜岡村＞	「Civil Engineer への扉」2006 年版について 19 人の会員が執筆、2,000 部作成、2006 年版は 1 部 500 円
ホームページ運用 ＜岩本＞	・システムテストランとバグ修正 ・SSL 対応 ・日常的な更新作業
H17 年度決算・監査報告 ＜河合＞	前年度の内容を報告

平成 18 年度活動計画

(1) 平成 18 年度の活動方針（案）、役員・会計監査（案）、役員会・事務局活動計画を発表。

(2) 各地区の活動計画

地 区	計 画 内 容
北海道地区	地区総会、見学会、勉強会
関東地区	女子学生との交流会、勉強会、新年会
中部地区	見学会、新年会、その他乳幼児を連れてこられる企画を開催したい
関西地区	見学会（5 月開催済）、H19 年度の総会開催準備会、忘年会または新年会、例会

(3) ワーキンググループ活動計画

名 称	計 画 内 容
ホームページ運用	コンテンツ見直し及び拡張、HP 更新計画の作成と実行、HP 利用方法のルールを検討及び作成、HP 定期更新へ向けての仕組みづくり
坑内労働規制緩和	法律改正等に関する情報収集、会誌「輪」の原稿作成（意識調査結果、法律改正の動向など）
新規ワーキンググループ立ち上げの提案	
広報企画	提案目的：会の活動を広く効果的に社会へ発信する各種の方策を検討 活動内容：書籍編集、出版のプロポーザルへの対応等 リーダーは須田氏とし、メンバーは岡村氏、河合氏、その他プロジェクトに応じて随時募集（2006 年度は、須田氏、岡村氏、河合氏、松本氏、牛山氏の 5 名で活動してします。）

■ 新規ワーキンググループ立ち上げ提案についての意見

- ・当会が非営利団体であるという前提で、この会がこれからどういう方向を向いていくかという意思表示がここで決定されてくる。できるだけ会から持ち出しのない形を追求する方向であれば、NPO 支援を申請するなどの方法もあると思う。
- ・会社に会の趣旨が理解されにくい現状も踏まえて、こういう活動を行う団体である、という意思表示を外に向けて発信していくのはよいと思う。
- ・就職支援パンフレットについて、中高生に買ってもらうのはよくない。スポンサーが買い上げて配布することが理想的である。女性への支援を積極的に行っている企業をスポンサーとしてつけるという方法も考えるべきではないか。ただし、企業側のメリット、会の側のメリットもきちんと考えないといけない。
- ・「のぞいてみよう土木の世界」というパンフレットを発行した時、買ってくれた会社のシールを貼ったことはある。打って出るのは良いが、会員数が減ってきて収入が減っている現状で、では会員を増やしていくのか、土木のことを広報するのか？など、大きな骨太の方針がないと難しい。今後それについてをとって議論が必要と考える。
- ・会員数は、未納会員の整理を進め、会費の未納分をどうにかする必要がある。現在、事務の効率化を図り、作業を軽減されてきたことで会員数を増やすことについては受け入れ態勢ができてきた。積極的にアピールしていきたい。
- ・骨太の方針を考えるべきという意見は貴重。いままで議論していたことは宣伝や拡大という事より、会の方針を見定めることが目的であったので、会員の増大も含めて、会の方針を考えていくことは大切なことだと考える。



(4) 平成 18 年度予算計画

主な項目	説 明 内 容
収入	雑収入には計上していないがパンフレットの売上が入ってくる予定 その他、郵便貯金の利子、パンフを売るために開いた銀行口座の利子が入る予定
支出	地区活動費について、今までの執行状況から一人 500 円から 350 円に落としてはどうか《提案》 以前は印刷した会誌を郵送していたが昨年度は CD-ROM で送付、今年は HP からのダウンロードとしたので、インターネットで閲覧できない人向けの印刷費 その他、編集費用および事務用品の購入
事務局活動費	就職支援パンフ費用をのぞいて昨年度実績とかわらないので例年通り
会議費	役員会の遠隔地メンバー用に確保している旅費。新幹線・飛行機代の補填
記帳費	複式帳簿作成費用として税理士に依頼する《提案》 スポンサーをつける、助成金を受けるなど、今後外からお金を預かることになった際、出資元に対するお金の執行についての説明責任のために確実な複式帳簿を作成する必要がある
運用準備金	通帳の残額
郵便切手	アメリカの財団が乳がんのアンケートをしたいという依頼があった。 その際切手を支給されたが、別に送付するものがあり、もらった切手を使わずに会計に計上した
未集金	毎年 20 万円程度の滞納がある

■ 予算計画についての質疑応答

- ・記帳費は今回のみの費用なのか、毎年 5 万円掛かるのか？
→今回は 5 万円、来年度以降は要相談であるが、会で更新する方向で考えている。
- ・複式帳簿の作成に関しては、ずっと議案にでていた。これは広報企画ワーキングに絡んでくることであり、実態をきちんと会計として把握できていないと議論ができなくなる。
- ・記帳費用、複式帳簿作成費用として会計案に記載するのは厳しいかもしれないので予備費という名目で予算を確保して検討を行い、総会後役員会で納得の上で事務局・役員会判断で支出し決算時にみな承認を得る形にすればよいのではないか。
- ・会費の請求書は郵送の必要があるのか。メールでは？
→1 人 1 人金額が違うので、手間を考えるとメールよりは郵送の方がよい。納入率を考えると、振込用紙の同封が必要である。
→除名までに 2 年の猶予があり、納入費用が違う場合があるので、メールで連絡するのは大変。自動振替の人へのメールは可能だが、それ以外の人には郵送が効果的である。
- ・会費の銀行振込は可能ですか？
→手続きの手数料が違う。郵便振替は 1 人につき 25 円の手数料で済む。
- ・会誌にの閲覧には会員ページへのアカウント登録が必要であり、登録者は現在 100 人未満である。アカウント登録の促進も含めて、ダウンロードとしていきたい。
→会誌のアップ時にはメーリングリストで通達、メールが使えない会員のみ紙に印刷して送る形になる。
- ・役員会の出席率を上げるためには遠方からの出席者に交通費を支払えるようにしていくべき。準備金からの繰り入れとほぼ同等ということでいままでもみな自腹を切っていた部分を払うようにして運営をきっちりやっていこうという考え方もあると思う。そのためには収入を上げる必要があり、(スポンサーも含めて) 特にボランティア的に動いていた事務局にたいして経費を支払うべきであると考える。

まとめ：一人 350 円の地区活動費、会議費、記帳費を予備費に変える。これについては役員会に一任とする。

(5) 会計細則（案）報告

(6) 「輪」2006年夏号編集方針について

- ・ 今後の輪の発行についてはホームページからダウンロードを前提とする。
- ・ 総会特集号発行前に、内輪版を臨時発行する。
- ・ 総会特集号について

■ 「輪」についての意見

- ・ 冊子として渡されたほうが活動に参加しにくい人には実感があってよかった。ダウンロードではページ数によっては読みにくいなど弊害もあるので、ライトなものにしてはどうか。
- ・ 輪の発行は一般用の年1回とし、内輪版はHPの広報ページを充実させることで代替してもいいのではないか。
- ・ ブラウザ上で見られるようにしてもよいと思う。外向けのために、公開ページで要約版（ライト版）の作成を検討。

第26回総会について

次回は関西地区、平成19年6月15・16日、もしくは翌週の金土を予定。

場所は総会、宿泊とも大阪市内を予定。

一日目午後見学会、夜懇親会。二日目午前は総会、午後分科会・講演会を検討。

新役員紹介1

関西総会へ、おこしやす

関西地区世話役 三好葉子

「土木技術者女性の会」は、零細コンサル勤務～個人事業と、身近に仕事の相談ができる同僚を持たない環境にある私の、心の支えです。同じ匂いのする仲間の集まりです。（ダンナは「同業」者と言わず、同病と言います。）

今回、その大切な仲間である諸先輩方から、優しく？肩を抱かれ背中を押しただき、「地区世話役」の任に就くこととなりました。優秀な補佐役も選任いただき…来年はいきなり関西総会という、ビッグなおまけ付き……もう、これは、やるしかないやんなぁ…と、腹をくくった次第です。

関西地区では、主立って活動していたメンバーが出産、子育てと多忙な時期に入ったこともあり、久しく形のある活動ができないうでした。淋しく思っていたのは、私だけではないはず…。やっぱり好きやねん…。この気持ちを大切に、総会開催という明確な目標に向かい、小さいことからコツコツと。元気いっぱいな関西メンバーで全国の皆さんをお迎えできるよう頑張りますので、暖かく見守っていて下さい。どうぞよろしくお願いします。

関西のみんな～、がんばろな！



活動の幅が広がってきた



中部地区 小畑敏子

私は総会からの参加であったため、あまり目新しいことを申し上げられないことをお許しください。

総会は、鹿島建設の大きなガラス越しに庭が見え、壁は白を基調としていて、結婚式の二次会でも開けそうな明るい部屋で行われました。前日まで、約1週間の環境・景観研修を受けた後でしたので、雰囲気の良い部屋にいっそう感心しました。中部地区からは私一人でしたが、総会の運営の仕方や、会の内容など今後の役に立つことが多く、また、お世話になった方にもお会いでき、実りのある1日となりました。

総会の内容で印象に残ったことは、活動の幅が広がってきていることです。ホームページが開設されたことで、多くの方に会の存在を知ってもらえるだけでなく、「輪」の発行をホームページに載せたり、会員の情報提供する場として活用することが今後可能になります。「Civil Engineer の扉」を発売したことから、とある出版社から本の出版の話が来ていることや、本の出版も含めた広報ワーキングが開設されるに至っています。そして、学生も含めた見学会が東京や大阪で開かれ、有意義であったそうです。担当されている方のご尽力が実を結んでいることを感じました。

中部地区でも昨年度、学生を交えた見学会を開催したものの、学生さんが4名、中部地区会員が3名と寂しいものでした。見学を依頼した先の工事状況などで開催できるかどうかははっきりしなく、募集する期間が2週間程度と短かったことが原因と考えられます。

参加された学生さんの反応も良かったことから、今年は1ヶ月前くらいにはお知らせして、少しでも多くの方に来ていただきたいと思います。

また、見学会の後に参加者が4つの分科会（①労働と環境、②子育てと結婚、③地域社会コミュニティ、④管理職マネジメント）に分かれて、各テーマについて討論されたそうです。討論された内容が総会の時に報告され、今後子供を持ちたいと思っている私は、「子育てと結婚」について念入りにメモを取り、組織的にフォローしてくれることの大切さと、夫の協力の大切さに、大いに同感しました。

帰りがけに、たまたま通りがけに見つけた国の重要文化財「明治生命館」と近代の建物「東京国際フォーラム」を少し覗いて帰りました。ここでも建物の美しさに心を奪われながら、名古屋の帰途へつきました。



分科会報告

「労働環境と健康」

関東地区 江森 宝子

労働環境が異なる4名で普段直面している職場の状況などをざくばらんに話しました。私は、漠然としたテーマでなにを話せばいいんだろうと不安だったのですが、話し始めるとポンポンと多方面に話が飛んでとても楽しく、貴重な時間を過ごすことができました。各話題について私のとったメモから簡単に紹介します。

- ・勤務時間 社内でも部署によって残業時間や休暇の取得状況が異なっている。休日出勤の代休があっても休みづらい。
- ・休暇制度 育児休暇など制度が整っていても、周囲の負担を考えると長期間休むのは気が引ける。代替要員の有無で休みのとりやすさが違う。育児や介護に対する理解が社会的に低い。
- ・こころとからだの相談 メンタル面で休職中の人が増えている。不安なことはたくさんあるが、身近な相談相手がいない。職場は相談できる雰囲気ではない。外部の相談窓口や仕事にかかわりのない人のほうが気兼ねなく相談できる。しかし、相談窓口に相談したくても勤務時間中は無理なので夜間・休日に相談できるようにしてほしい。



- ・IT メールは時間を気にせず伝えることができるなど、便利だが、顔の表情や声の調子を感じながら話を進めたほうがスムーズなこともある。ネット会議は旅費と時間の削減になる。
- ・冷暖房 室内は、夏は冷えすぎ、冬は暑い。体調がおかしくなる。クールビズ・ウォームビズで緩和されてきたが、個々に対策をしている。若い人は小さい頃から冷暖房になれてしまい、体温調整ができなくなっている。
- ・喫煙 禁煙・分煙がすすんでいるが、喫煙者が多いところは守られていない。
- ・セクハラ・パワハラ いまだに女性をホステスとして扱う男性がいる。管理職研修や相談窓口の開設によって周知され、皆気をつけるようになってきた。普段のコミュニケーションの深さによって、同じことを言われても受け取り方が異なる。
- ・健康づくり 運動は、健康維持はもちろんストレス解消にもつながる。運動を習慣とすることによって、頭がさえて物事を違う視点から考えられたりして、仕事もはかどる。

みなさん、普段から職場について思っていることを積極的に発言され、活発な意見交換ができました。「快適な職場とは」「改善をどう進めていくか」などを考えていくと、改善がすすむ一方で、まだまだ様々な課題があることを再認識しました。プライバシーを尊重したり、パソコンなどに向かう時間が長くなったりして、人と人との関係が希薄になることによって生じる問題も少なくないと感じました。私は、昨年から労働安全衛生に係る仕事をしており、今回の分科会は業務を行っていく上でも大変参考になりました。今後も「より快適な職場で、働きつづけるために」頑張っていきたいです。

「土木業界における女性管理職と女性のマネジメント」

関東地区 田中真弓

最近、金融や小売業界では、大企業においても女性を経営陣として迎えたというニュースが聞かれます。それに対し、土木業界ではまだまだそのような状況には至っていないように感じます。今回、分科会4として「管理職（マネジメント）」というテーマについて民間に所属する5名で、職場での状況や本音を話し合い、今後、日本の土木業界を引っ張っていくようなリーダーとして女性が育っていくためには何が必要か、を考えていく必要があるだろう、という意見が出ました。

本テーマ名は「管理職（マネジメント）」となっておりますが、分科会では、まず、「マネジメント」と「管理職」について、それぞれの定義と具体的な問題例などを出し合いました。

マネジメントは、経営・技術・業務の三つのマネジメントに分類できます。経営マネジメントは、会社の経営者として、給料の配分、資金繰り、会社の運営方針を決定します。技術マネジメントは、ある技術の開発から展開までを成功させます。業務マネジメントは、ある業務について、担当者、費用、工程を管理します。これらのマネジメントは、いずれも個人の視点では成功せず、常に会社側の立場で会社の繁栄のために行動する必要があり、管理職であるかないかに係らず、持っているべき視点だと感じました。

管理職は、業務遂行上の指揮者としての「一般の管理職」と、経営に参画していく「ラインの管理職」の

二つに分かれます。これまで、民間ではラインの女性管理職はほとんどいなかったのではないのでしょうか。ある例では、途中まではラインの管理職であった女性が、出産を期にラインからはずされたそうです。また、上司・部下との人間関係や、同じ立場の人とのライバル関係などが性別に関係のない悩みとして挙げられました。しかし、男性の多い会社内の人間関係の中には、やはり女性特有の部分もあるかもしれません。管理職となつてよいこととしては、役職があると責任ある仕事が任せられる機会が一層増え、スキルアップにつながるという話がありました。

今後、土木業界で活躍する女性が増えてくると、管理職へとステップアップしていく方もいらっしゃると思います。管理職になるには、まずは成果を積み重ね、周囲の人たちに仕事・成果を認めてもらわないとなりません。そして、自分の役職より上級の役職の職務がこなせてから、上級の役職はついてくるのです、というアドバイスが管理職の先輩メンバーからありました。今回の分科会では、民間企業のメンバーで話しをしておりましたので、官公庁での様子はわかりませんでした。また、管理職を経験した方から、女性の管理職やマネジメントの問題・対処方法について経験談をお聞きしたいと思いました。是非、土木技術者女性の会でもそのような機会を設けていただけたらと思います。

土木技術者女性の会ホームページ <https://womencivilengineers.secure-ymc.jp/>

会の概要、活動内容などが掲載されています。

入会ご希望の方のお申し込みやお問い合わせもこちらからどうぞ。



「地域社会とコミュニティ」

北海道地区 河合菊子

分科会の私たちのテーブルについたのは4名。社会属性的に報告すると、子供あり1名、40歳代1名、30歳代2名、20歳代1名。勤務先は建設会社1名、電力会社2名、シンクタンク1名。

自己紹介とともに最初のキーワードの「地域社会」について、それぞれの関わり方を紹介した。仕事以外で地域社会に関わっているのだろうか、私？子供ありの1名は、子供の学校関連の活動や、自宅周辺のお付き合いがあると明確に定義。残りの3名は「うーん」。仕事ばかりやっている我々って、家は眠るところ、すなわちその辺のおっさんと一緒？なーんて思うと哀しいということで、まずは定義にこだわらず、「仕事もあり」「まとはずれかもしれないものもあり」にしておしゃべり開始。出てくる、出てくる、企業の社会貢献活動のオーガナイズ、環境ボランティアとのコラボレーション、行政の理科教育の支援策立案、社宅でのお付き合い…。結論は「生きているだけで、なんらかの形で地域社会に関わっているって認めることにしよう！」。

となると、もうひとつのキーワードの「コミュニティ」は、というと、少し気が楽。「コミュニティ」って、何かしらの興味を共有する多様な人の集まり、ネットワークなのだ。例えば土木技術者女性の会。「土木」というキーワードに関わる女性の集まり」。土木関連の業界で働いていなくてもいいし、学校で土木関連の勉強をしたわけでもなくてもいい。明確な定義はない。「土木に関わる」と本人が思えばそれで十分。それで十分、ってことはこれまでのながーい活動の歴史がものがたっている。

もう一つ。人的ネットワークという視点からの「コミュニティ」とは、ネットワークを顕在化させた成果。土木技術者女性の会もそう。「土木」というキーワードで繋っている、顕在化されたネットワーク。このコミュニティがなかったとしても、それぞれの人はそれぞれが持っているネットワークを通じて知り合

うことはあったらうけれども、ここまで大きなネットワークがあることには気がつかなかっただろう。人的ネットワークに少しの手を加えることでできたコミュニティ、そのもの。

ようやく揃った「地域社会」と「コミュニティ」の二つのキーワード。だが…、「地域社会とコミュニティ」って何？？この分科会のテーマって、ちょっと難しいんじゃない…、と落としどころが見えなくなって暗雲が立ち込め…と少々心配になったところで、リーダーの見事な仕切りと事例紹介。

業務として「地域社会への貢献」に取り組む我々がリーダー。地域社会に関わりたい、貢献したいと思うけれど、アプローチ先がわからない。で、行政のある組織にコンタクトが取れた瞬間、その地域に大きなニーズがあることがわかりパタパタッと話が進んだという。私も同じ体験。ある自治体の施策立案のお手伝い中のこと。地域社会にはニーズがある。一方、そのニーズにぴったり合う活動ができるコミュニティ（私に関わった事例ではNPO）がある。ニーズもシーズもぴったりマッチングしているのに、お互いの存在を知らないことが問題だと気がつくのにそんなに時間はかからなかった。「地域社会」と「コミュニティ」の課題は「ニーズとシーズのマッチングだ！」、と、ビジネスの基本に帰着。なるほどね。

いつもながら分科会はおもしろい。ざっくりしたテーマだけが設定されていて、結論を出す必要もないブレインストーミング。そして1年に一度の総会の中で、じっくり話せる貴重な機会。そしてここでも人的ネットワークが形成され、顕在化して、新しいコミュニティが生まれたのだ。ちゃんとお仕事情報も仕込んでしまった私。元は取ったぞ。

楽しい議論をリードしてくれたリーダー、テーブルのみなさん、ありがとう!!!

現場見学会



6月16日（金）、総会の行事のスタートとなる現場見学を行いました。
見学現場は、渋谷区初台1丁目～目黒区青葉台4丁目の環状第6号線（山手通）に位置する「代々木シールド」、延長約2.7Km区間です。3環状道路整備は、首都高速中央環状線と首都圏中央連絡自動車道と東京外かく環状道路で構成されており、46kmに及ぶ計画延長のうち、これまでに東側区間20kmが完成しています。「代々木シールド」を含む中央環状新宿線の西側区間に位置し、延長約11.0km区間は環境保全の見地からほぼ全線にトンネル構造を採用しています。

今回の現場見学には、女子学生の参加者も希望を募りました。普段立ち入ることが難しい大規模土木工事の現場を見学することで、将来の進路の参考にしてもらおうと、20名ほどの学生も加わり、総勢40名の見学会となりました。

工事事務所にて工事概要の説明を受けた後、資機材を搬入する初台立坑から階段で地下40mのトンネル底部へ降りました。トンネルの直径は13mもあり、外回りと内回りが並行しています。大成建設が担当する内回りのトンネル内を歩き、セグメントの種類や、ランプとの接合のための開削方法などの説明を聞きながら見学しました。（外周りは、鹿島建設が担当しています。）

見学後の質疑応答では、シールドマシンの事、掘削土質の事、トラブル発生時の回復方法など、様々な話題が飛び交いました。見学会には、土木学会の小林将志理事も来られ、これからの土木の動向や、女性の土木業界への進出についての助言もいただきました。

予定していた2時間はあっという間に過ぎ、充実した見学会になりました。



’06 総会 見学会に行ってきました

関東地区 岡田阿礼

第 25 回土木技術者女性の会 総会にあたり、6 月 16 日（金）の午後 13:30 より現場見学会が行われました。今回の現場は新宿～渋谷を結ぶ中央環状道新宿線の内回りトンネルです。

中央環状道は首都高速道路網の渋滞緩和策として整備が進められている首都圏環状道路の一つです。都心から 8km に位置し、計画延長 47km のうち東側および北側の 26km 区間がすでに完成しています。

中央環状道路の池袋～新宿～渋谷区間は、地域の環境に配慮して全線の約 70% がトンネル構造になっていて、シールド工法による工事が採用されています。見学が行われたのは、初台に設けられた発進立坑（人、建設機械、トンネル外枠などが地下に降りるための、いわばターミナル）より渋谷側の部分でした。池袋～新宿～渋谷区間の工事は、大成・フジタ・戸田特定建設工事共同企業体（ジョイントベンチャー；JV）により施工されており、私たちは大成建設代々木シールド作業所で説明を受けた後、ヘルメットと軍手をお借りしてトンネル内に入りました。

私は水処理が専門分野のため、このように大規模な土木工事現場を見る機会はほとんどありません。私と同様、土木屋さんでない人のために解説すると、シールド工法とは、シールドマシンを使って円筒形のトンネルを掘ると同時にトンネルの外枠（セグメント）を組み立てていく工法です。すでに新宿～渋谷間の掘削は終了しており、現在はトンネル内部からセグメントの一部を撤去し、内回り・外回りトンネル間を結ぶ構造物を構築するジョイント部の工事が行われていま

す。トンネルはその円形形状でもって外部の土圧に抵抗しているため、トンネルの一部を開口すると応力に偏りが生じ、そのままでは施工することが出来ません。このため、開口する区間の前後に縦及び斜め方向に仮設の支え（切梁）を行っています。セグメントが剥き出しのままの、直径 11.8m のトンネル内部に鉄骨の切梁が立ち並ぶ姿は壮観です。また、開口しない部分のセグメントが RC 製なのに対し、開口する区間は鋼製のセグメントを用いるなど、外枠構造自体も変えています。

今回は残念ながら終点新宿まで行くことは出来ませんでしたが、現場見学の後、質疑応答時間が設けられ、見学中の疑問点などにていねいに答えて頂きました。掘削中のトラブルは？道路の地下化による環境改善効果はどの程度？などなど、時間一杯まで質問が出されました。シールドトンネルは河川の橋脚や地下鉄などの既設地下構造物を避けたルートで掘り進められるのですが、そこはやっぱり東京の地下、掘削中には予測不能な埋設物（過去の地下工事の残骸など）に当たることもあったそうです。環境改善については、首都高速の渋滞緩和により、何らかの効果が出ると考えられるものの、都市型の集中豪雨など気象現象との詳しい関連はまだ謎が多いようです。

すぐお隣の外回り工区は鹿島 JV さんが施工していました。2 つの工区は並行していながら、シールドマシンの構造がそれぞれ異なっており、技術的なこだわりが見られ興味深かったです。



中央環状新宿線を歩く

関東地区 箱田裕子

2006 年、関東で行われた見学会では、大成建設(株)のご配慮のもと、いま話題の首都高速中央環状新宿線代々木シールドを見せていただきました。

当日の天気予報は雨で、集合時間の少し前まで雨が降っていましたが、全員の日頃の行いのよさが現れ、雨は止み傘は使わずにすみしました。

しかし、降雨後の立坑は大変だなと思いました。階段を使ってシールドトンネル坑内まで降りていったのですが、溜まっていた雨水が音を立てて落ちています。見ている分にはきれいですが、雨・雪関係のないシールド工事とはいえ仕事のときは嫌だろうな、とつい、思っていました。



初台の発進立坑を下りて、シールドトンネル内に入ると、もう到達一週間前ということもあり、とても広く、閑散としていました。私は社会人になって初めてシールド現場を見せてもらったとき、勝手な泥臭いイメージから掛け離れたきれいな現場を見て驚いた事を覚えています。仕事をしている人にとっては、当たり前のことかもしれませんが、参加した学生さんたちもとても整頓された現場に衝撃を感じてみたいと思います。

今回は会員だけではなく、女子学生の方もたくさん参加してくれました。参加人数 46 人中、半分が学生さんです。これだけの人数が集まると喧嘩を始めるわけではないのですが心強い。

学生時代は意外と、現場に触れる機会がありません。なかなか見る事のできない現場を体感できてよい機会になったと思います。学生達にとっても、技術というよりもこれから都市機能の中核をなす、首都高速の現場を見たということはプラスになると思いますし、何度も見ている人にとってもまた新しい発見ができてよ

かったと思います。私も貴重な体験をさせていただきました。

現場の方々も丁寧にこのシールドについて話してくださり、時間の許すかぎり質問にも答えてくださいました。最後の質疑応答もモニタリングのこと、計画のこと、トラブルのこと等、さすが技術者だな、と思う質問が頭の上を飛んでいました。



一つ、残念なことは、シールドマシンを見ることができなかったこと。シールドマシンの説明は、本当におもしろくて、急曲線に対応できる、中折れ装置や自動・半自動セグメント組立装置についてもいろいろと話してくださいました。そのシールドマシンを後ろからでも見てみたかったというのは、本心です。

大成建設(株)国際支店支店長小林氏からは、「いろいろな事を体験し、ハードルを飛び越えて地域、海外と幅広く活躍して欲しい」というお言葉もいただきました。先人達が道をつくってくれて、周りの理解が得やすい、今だからこそ、女性も活躍できる場所が広がっています。私も分野は少し違いますけれど自分というものをしっかりとをもって仕事をしていきたいと思いました。

【概要】首都高速中央環状新宿線代々木シールド（内回り）は、初台（渋谷区）～松見坂（目黒区）までの 2600m を ϕ 13.06m の泥水シールドマシンで掘削していく工事です。千代田線や小田急線、京王井の頭線等、主要交通直下という地下深い工事のため、難しい問題も多々あったようです。この道路が完成すると、渋滞緩和はもちろんのこと、スムーズな移動により排気ガスの減少など、環境負荷も少なくなると予想されています。

新役員紹介 2

事務局 松本香澄

このたび、事務局のお手伝いをするようになりました松本です。東京都から現在武蔵村山市に出向しています。

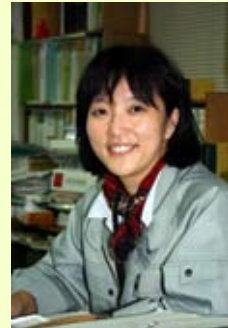
土木技術者女性の会には、本当に「出戻った」という感覚です。

大学卒業ときに、当会のお誘いをいただき、何度か会合に出席した記憶があるのですが、その後、結婚・子育てで、全くご縁がない状況でした。時々送られてくる「輪」と会費請求書をながめながら、私はこの会に所属している意味があるのだろうか？と首をかしげていた有様。

そんなこんなしているうちに、一昨年あたりから（別に子供達が急に大きくなったわけではないのですが、）なんだか急に時間がとれるようになり、坑内労働の話あたりから少しずつ会に係わりがでてきたところでした。

「事務局」という大層なところに名前を連ねてしまって、どの程度のことができるのか、不安の山ですが、年数を重ねた分ぐらいは何かの役に立てればいいなあ、という気持ちで参加させていただきます。

これまでお話をさせていただいた事務局の方々は、本当に素敵な方ばかりで、その方々と一緒にできることをとっても楽しみに、喜んで参加したいと思います。よろしくお願いします。

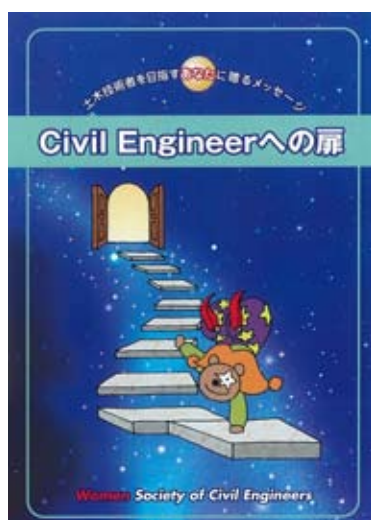


土木技術者を目指す女子学生のための就職支援パンフレット

「Civil Engineerへの扉」2006年版

就職支援パンフレット作成WGにより、「Civil Engineerへの扉 2006年版」が昨年度末に発行されました。将来を模索している女子高校生や女子大学生の職業選択や、土木技術者を狙っている女性達の就職活動を支援することを目的として、土木技術者女性の会が作成した就職支援パンフレットです。

（パンフレット作成には、「東京ウィメンズプラザ」の平成17年度助成を受けました。）



【内容】

1. イラストによる土木分野の仕事の紹介
2. 現役で活躍している女性技術者19名によるロールモデルの紹介
3. 働く女性にとって重要な法令や資格に関する情報
4. 土木技術者女性の会の紹介

ご希望の方は住所・氏名・注文内容を明記の上、下記にお申込みください。定価×冊数+送料で販売いたします。代金は同封の振込用紙で振り込んでいただきます。

【申込・問合せ先】

土木技術者女性の会事務局

E-mail: suda@kajima.com

A5版23頁

定価 1冊500円（送料別）

北海道地区現場見学会報告

北海道地区 中山真貴子

報告が遅くなりましたが、2005年7月2日（土）に行った現場見学会について報告します。参加者が、河合菊子さん、佐藤厚子さんの2人と幹事の私の3名でしたので、現場で説明者が見学者を待ち受けているといった格式張ったものではなく、“土曜日の静かな現場（平日は発注者側との打ち合わせや本社との連絡等が多く見学者の相手はあまりできない）にちょっとおじゃま”といった感じになり、見学する側／される側とも負担感が少なく、これはこれで良かったと思っております。

見学会実施概要

名 称：土木技術者女性の会 北海道地区現場見学会（2005年度）

日 時：2005年7月2日（土）10:30～13:00

参 加 者：佐藤厚子、中山真貴子、河合菊子

見学工事名：畑地帯総合整備事業（担い手育成型）西神楽東部地区 31 工区（旭川市）

工 期：平成 17 年 4 月 28 日～11 月 10 日

発 注 者：北海道上川支庁中部耕地出張所

請負者および請負金額：株式会社 生駒組 145,425,000 円

工事概要：区画整理工 15.8ha（総運土量 308,555 m³）

傾斜のある農地（斜度 10°）をある程度の緩い傾斜の農地（斜度 6°）に改良する工事です。表面の耕作に適した土を 40cm ほど剥いてから軟岩と火山灰からなる基層を目標勾配まで切盛りして、最後にまた表土を戻します。土を仮置きするヤードがないので土を何度も動かしながらの作業です。

暗渠排水工 13.5ha

区画整理を行った畑地に排水改良のため 10m 間隔で合成樹脂有孔管を埋める工事です。管路長は 1ha 当たり 1km となります。

①は今回お二人に見ていただいた施工中の農地です。現地は観光地として有名な美瑛の丘とほぼ同様な景観で、スキー場の緩斜面並みの傾斜があり佐藤さんが“農作業中に事故は起きないの？”と心配されていましたが、実際に、農作業機の事故がけっこうありま

す。昨年の北海道地区勉強会で農業土木の工事について必要性や工法の考え方などを説明させていただいたのですが、現地を見てなるほど感じていただけたのではないのでしょうか。



①区画整理完成後の農地



②暗渠施工中



③40tトラック

今回は実は公道を走れない巨大なブルとトラック（写真③）が5haの農地を縦横無尽に走り回って農地の勾配を直しているところをお見せしようと企画したのですが、天候が良く工事が予想外に進捗してしまい、既に運土工事が終わってしまいました。このため、麦の収穫後引き続き8月に工事する隣の畑のために待機させている作業機を見せてもらいました。①の写真にあるような急な法面を下り、隣の畑の隅の置き場に行くのは意外に遠く、暑い中を歩かせてしまい済みませんでした。

現地見学後はプレハブの現場事務所に上がり、お二人は施工中の写真を会社の若い補助技術者からパソコン上で出してもらったり、壁に貼ってある測量後の朱書図や施工管理の書類の説明を受けたりしました（私は現場代理人とソファで世間話をしていました）。これまでの現場見学会で見てきたような巨大で高度な技術の工事とは違い、単年度の小さな工事ですが、見学者が少人数ということで細かいところまで見せてもらえ、詳しい話を聞くことができました。

1時間半程度の見学でしたが、天気良くお二人といろいろな話もでき、幹事の私が一番楽しんだ見学会でした。用事があるとのことで佐藤さんは札幌へとんぼ帰り、河合さんは高速道路を一人で運転して集合など、皆それぞれ忙しく、また参加者も少ないなど現場見学会の開催もだんだんと難しくなってきましたが、こういう力の抜けた気楽な見学会ならなんとか続けていけるのではないかと思いますので、来年もよろしく願います。



出張先でのお勧めのホテル

北海道地区 秋元 ゆき子

北海道の帯広市・・・出張で行く方が多いのか意外と、市の中心部にはビジネスホテルが多くあります。私は、仕事でというよりは職場のゴルフコンペで何度も行きました。3年ほど前に、帯広駅のすぐ近くに、「ルートイン帯広」(<http://www.route-inn.co.jp/frame/fobihiro.htm>)というホテルがありました。このホテルはビジネスホテルながら・・・1階に大浴場（一応温泉らしい）があります。寝る前に風呂！！朝起きて風呂！！最高です。インターネットつなぎ放題というのもいいです。それでいてリーズナブルです。北海道はどこの町や村もだいたい温泉宿泊施設というのがあります。そんな宿泊施設を利用しながらローカルなマラソン大会にでるのが楽しみな私としては、出張やゴルフの時もやっぱり大浴場があったらいいな・・・と思うのでした。

☆おまけ☆

辻さんの「おすすめの1冊」(P.25)の中で紹介されている蝦夷富士は北海道南西部にある羊蹄山という山です。富士山に似ているため、蝦夷富士といわれています。この山を眺めながらいる露天風呂は最高です。京極温泉、昆布温泉、真狩温泉、ニセコひらふ亭 etc・・・いろいろな角度から楽しめます。ちなみに北海道の北の島、利尻島の利尻富士これも富士山に似ている山です。初山別村の岬センターの露天風呂から天気がよければ見ることができます。ドライブいかがですか・・・

日 時：平成 17 年 11 月 19 日（土） 14：00～17：00

場 所：明治コンサルタント株式会社 会議室

参加者：7 名（会員：井上、河合さん、木村さん、佐伯さん、島村さん（東京より参加！）、中山さん、南さん、非会員：山岸さん）

久しぶりの大雨で、あいにくの天気となってしまった当日でしたが、出席者 6 名、講師の方 2 名を迎え、秋の勉強会が行われました。熱心な討議は 3 時間続き、大変有意義な時間を過ごしました。

①「会社員じゃない人生って（その 3）（「規格」外市民から行政パーソンへのご提案）」河合菊子さん

まず、会員の河合さんから 3 回目となる「会社員じゃない生き方」についてお話を頂きました。今回は札幌市役所、小樽市役所の方々への講演内容の一部。合わせて河合さんがインタビューに関わった道内を拠点として活躍しているクリエイターのカatalog も見せてもらいました。

「北海道には、道外からやってきて活躍している人が大勢います。こういう人材をもっと積極的に活用すべきです。」といったお話の中で、河合さん自身の略歴として、東京を田舎として神戸で育ち、アメリカに留学し、東京、関西で仕事をし、現在は北海道に在住（現在、夫は横浜）と日本中をまたにかけた活躍が紹介され、「そんな人生もありか〜」と羨ましく思う私でした。

②「イタリアと北海道の景観設計」山岸加奈さん

（北大建築学科博士課程）

元会員の山岸さんには、イタリアに留学していた時の事例をもとに景観についてお話を頂きました。まず、イタリアのトスカーナ地方の映画に出てくるようなきれいな風景が紹介され、それと並んで北海道の地平線まで広がる農地、青々とした牧草地に点在する家畜、といった風景がでてきて「北海道とトスカーナ地方は似ている」という話から始まりました。

「イタリアでは、建築、土木、都市計画は同じ分野であり密接に関っている。イタリアでも農村地帯に突如、工場のタンク等が出現し風景が壊れてしまう事例がある。しかし、『景観法』がしっかりしており“学術的に重要な建物とそれを含む風景は守るべき財産である”という根本的な思想が国民に浸透している。」といった様な、お話がありました。

では、北海道の農村景観を守るために必要なことは何か？現在最もネックになっているのは農地のほとんどが‘私有地’

である事です。イタリアでは、景観を保護するための負担を誰が払うのか？

土木構造物では景観に配慮することでコストが跳ね上がってしまう場合がある、どこまでやるのか？が難しい。土木技術者に芸術的センスを求めても無理だ。等本当に様々な話し合いがなされました。少し厳しい話もありましたが、結局はこのような場を通して一人一人の意識を変えてゆくことが大切だと思いました。

③「巨大地震の津波の痕跡」重野聖之

（明治コンサルタント株式会社）

明治コン地質課の重野さんには、釧路・根室地方の海岸線で確認された巨大地震の津波の痕跡についてお話いただきました。

「海底の地質を調査することは難しい。そこで、津波堆積物の痕跡を調査し、地震を伴う地殻変動を把握する。」現地トレンチ掘削状況をビデオで紹介したの



ち、津波堆積物の特徴（砂層の形成、汽水域のケイソウ類の混入、地形と津波堆積物の連続性、等）を説明して頂きました。

「地層の間に挟む火山灰より年代を把握すると、過去 200 年の間に少なくとも 6 回以上の巨大津波が北海道の沿岸を襲っていることが解った。これをシミュレーションにより再現、今後は噴火湾や東北地方での痕跡なども調査する。」といった内容が、紹介されました。

最後に、17:30からはススキノに場所を移し忘年会を兼ね、打ち上げを行いました。



船盛りの刺身にはじまり、お互いの近況報告や島村さんから東京本部の様子など聞き、いろんな話で盛り上がりました。その中で、私が一番引っかけたのは「若い女性技術者は、女でつるむ事を敬遠する」という内容です。私たちの活動は「男女平等を勝ち取ろう!!」という運動と少し異なっていると思います。しかし、女性ならではの問題はまだまだあります。無理に入会をすすめる訳ではないが、『私たちはここに居るよ』と門戸を広くしておくことは重要だね!』と話し合いました。

関東地区の新しい体制です

世話役	畠中千野（大成建設株式会社）	
世話役補佐	北原正代（東京電力株式会社）	> 会計、世話役補佐
	岡田阿礼（共和化工株式会社）	> メーリングリスト、会員動向
	今村麻希（東京電力株式会社）	> 勉強会等運営補助
輪関東地区担当	箱田裕子（株式会社山海堂）	> 輪発行

○畠中千野

平成6年入社です。地下構造物の設計や解析に関わっています。次に訪れる優雅なバブル期を経験したくて会社生活を続けていますが、現実には、仕事と子育てで毎日が運動会のような生活をしています。

○北原正代

関東地区世話役補佐の北原正代と申します。平成4年に入社し、電力設備の土木構造物の保守管理を約10年間経験しました。現在は「地域」「ネットワーク」「環境教育」といったコミュニティに関する仕事をしています。

○岡田阿礼

水処理プラントの設計として1年目。設計に配属になる前は建設現場で3年間現場職員として働いていました。今でもMyヘルメットとMy手袋は手放せません。いずれは設計と現場の間を飛び回れるようになります。

○今村麻希

関東地区世話役補佐の今村麻希と申します。平成17年に入社し、送電鉄塔のコンクリート基礎の劣化診断および補修・補強工事の管理といった業務に携わっています。“明るく元気に”がモットーです。よろしくお願いします。



平成 18 年 1 月 14 日、名古屋市役所の近くにある有機野菜のお店「ロッソフレスコ」にて新年会を開きました。あいにくの雨の中、4 名の方が参加してくださいました。出産を間近に控えた方も参加され、その方へのアドバイスに耳を傾けながら、おいしい料理をいただきました。

られるような企画が出来ないかを長い目で考えていくことについて話し合われました。

久しぶりに、懐かしい方々とお会いでき、楽しいひとときを過ごしました。

その後、二次会でウィル愛知へ。ジュースを片手に、平成 18 年度の活動計画と中部地区の役員体制について話し合いました。見学会は 9 月 30 日頃、新年会は 1 月 13 日頃（今度はもう少し人が出て来やすいように名古屋駅にて）開くことを決めました。中部地区では、出産される方も多くみえるので、乳児を連れてこ



出張のとも ～名古屋は駅西が熱い!?～

関東地区・平永佐知子

万博、中部新国際空港、そしてグルメと、元気で HOT な話題が尽きない名古屋、そして名古屋といえば、名古屋駅～栄あたり（駅の東側）がビジネス、ショッピングの中心地、高層ビルもあってお洒落。

でもでも…実は駅西（新幹線で東京から大阪に向かう時の左側）が意外と穴場なんです。確かにパチンコ屋さん、一杯呑み屋さん、大手予備校がびっしり、、、と駅の東側とは雰囲気違うかも…。

でもご心配なく。女性が一人で泊まれるビジネスホテルもあるし、一泊 6,000 円台～7,000 円台とお得感あり。もちろん交通至便。女性一人の食事も「新幹線地下街エスカ」で、名古屋名物「きしめんのよしだ」「山本屋の味噌煮込みうどん」などご賞味あれ～。

☆職場の同僚（女性）お奨めビジネスホテル（いずれも名古屋駅（太閤通口）から徒歩 5 分以内）

- ・名古屋フラワーホテル P A R T II (<http://www.flowerhotel.co.jp/>)

清潔、綺麗、女性一人の客も結構いる。朝食 350 円。いかにも名古屋らしい広～い道（太閤通）に面していて、この通りを挟んで向かいに、行列の絶えないラーメン屋「萬珍軒」あり。芸能人がお忍びで来ているという噂も？

- ・名古屋リバティホテル (<http://www.nagoya-liberty.co.jp/>)

清潔、綺麗、女性の客も多い。近くに喫茶店が数件あってモーニングも充実。ちなみに名古屋の喫茶店では、am10:30 位まではコーヒーを頼むと自動的にパンや玉子が付いてくる。

- ・ホテルアストリア (<http://www.astria.co.jp/>)

清潔、駅から徒歩 3 分（ビックカメラのすぐ西側）で、一泊朝食付き 6,000 円程度という値段と快適さはいいかも。近くに予備校が多いせいか、コンビニ、ファーストフード系も充実。

＊見学会の開催（詳細は、P.22 参照）

日 時：2006 年 5 月 19 日（土）13:30 ～ 16:30

場 所：神戸高速鉄道交差部工事

参加者：26 名

内 容：神戸高速道路の地下営業線直下を交差して阪神高速道路神戸山手線を建設する工事。営業中の地下鉄道函体を 120m の区間にわたって仮受けしながら行う工事の様子の現場見学

＊懇親会の開催

日 時：2006 年 5 月 19 日（土）18:30 ～

場 所：大阪市北区

参加者：19 名

＊19 年度総会準備会（第 1 回）の開催

日 時：2006 年 6 月 8 日（木）18:30 ～

場 所：大阪市北区

参加者：3 名

＊今後の活動計画

例会（総会準備会を含む）、見学会の開催

新年会または忘年会の実施をめざす

お薦めホテルあれこれ…

関東地区 中村恭子

出張の時によく使っていた全国のお薦めホテルをいくつか紹介します。

★大阪：トーコーシティホテル新大阪（<http://www.tokocityhotel.co.jp/shinosaka/>）

新大阪に近くてしかも穴場、予約を断られたことはありません。清潔で居心地いいです。

★福岡：南福岡グリーンホテル（<http://www.green-hotel.co.jp/>）

温泉大浴場、サウナがあるビジネスホテルです。出張の疲れが吹っ飛びます。

★札幌：ススキノグリーンホテル 2（<http://www.susukino-greenhotel2.com/>）

少し古いけれど、お風呂はトイレと別になっていて家庭風呂。豊富なお湯を使って体を洗い場で流せます。湯船も深くて寒い冬には何よりうれしい。

★全国主要都市：R&B ホテル（<http://www.randb.jp/reserved/index.aspx>）

安くて環境に配慮されたビジネスホテル。寝巻きは必要な人だけに、歯ブラシも不要ならポイントに還元されます。朝食はパンと飲み物がサービスです。どこもできたばかりで清潔ですよ。

土木技術者女性の会 関西現場見学会「神戸高速鉄道交差部工事」
2006年5月19日(金)開催

国道直下、営業線直下、河川近接、地元対策と難易度の問題を抱え施工されている現場は大変見ごたえがありました。最初に一言、「本当に行ってよかった」。

営業線のアンダーピニングは首都圏ではめずらしいことではないでしょう。大阪市内においても、市営地下鉄は現在7線が縦横に走っており、間もなく8号線が開通しようというところで、新線の近接施工は当然とも言えます。そもそも新線はネットワークの拡大を目的としているので駅部での近接は当たり前。これまで私が見学したのは直角、あるいは平行に交差するものでした。今回見学した工区は、斜めに交差します。角度があると、直角に比べて交差部分が広くなるのは勿論ですが、単純にそれだけではないこと、その理由・状況が現地で確認できたことが今回の見学で勉強になった部分です。

河川近接の掘削で止水対策は必須ですが、ドライな状態が確保されていました。土留壁の構築は完璧。埋設物の状況により、部分的に構造の違う土留の説明を受けました。

既設営業線と新設線のどちらかに軸を合わせると、他方の軸とずれる。営業線を仮受けする支持杭の割り振りを複雑にさせます。作業は営業線の受け替えの後、掘削を終え土間コンの打設が完了していました。仮受けの状況を理解し、躯体構築時の想定をするにはちょうどよいタイミングでした。土間コンには、これから構築される躯体の壁の位置がマーキングされていました。仮受支持杭が躯体壁の中にあるものも確認できました。躯体だけでなく、躯体を構築するための支保工、機械の作業範囲・・・今後の躯体施工の難易度を実感しました。

場内は安全通路がわかりやすく確保され、仮設備の配置も整然としており、仮置きの資材も整理整頓が行き届いていました。最近の現場はどこでも本当にきれいです。見学を終えて質疑応答前に所長はこうおっしゃいました。「現場は女性と同じで、見られることで美しくなると思っています。お気づきの点あれば」お言葉の通り作業所全体でその方針で取り組んでおられることが感じられました。

最後に質疑応答。計測管理に関すること、設計に関すること、事業そのものに関すること・・・様々な角度から質問がありました。違う視点で見ているところが新鮮な感じがしました。これこそ会員が多面で活躍しているからこそその利点ですね。現在私は営業関連の業務で、技術的な業務から離れているのですが、施工面での質問をしました。コンクリートの品質確保のための工夫について具体的に伺いたかったのですが、私の質問がぼやけてしまったためか、本当に引き出したかったところまで踏み込んだ答えはいただけませんでした。(この反省は次回に活かそう。)

現場の施工状況は前述の通り一段落着いたところでしたが、今後の躯体構築に移ってからの施工状況も興味深いものがあります。もっと言うなら、ここまでの状態になるまでの様子も見なかったです。

最後に、最近の業務の中で思ったこと：国土交通省が竣工後通知する工事成績評定点には、加点のみの高度技術と創意工夫という項目があります。双方が満点だと13.2点。こういう工事を意識的に受注しなければ評点アップには繋がらない・・・見学会の状況を思い出しながら、そんなことを考えました。

特集2 お奨めの1冊

人生を変えた1冊とまでは言わないけれど、ぜひ読んでほしいこの1冊、お奨めの愛読書を紹介します。

「菜の花の沖 司馬遼太郎」

関西地区 小林千恵



今年はお正月から司馬遼太郎に縁があったようで、初詣に行った京都で、偶然、司馬遼太郎のお墓に参ることになりました。東山五条の西本願寺の墓地、西大谷廟にお墓がありました。命日は平成八年二月十二日。

1月の終わりごろには金沢の橋立にある温泉に行ったのですが、あまり観光するところもなく、寒い中海岸を歩いたりしていたときに「北前船の里資料館」という誰も見学人のいない淋しい記念館を見つけて入ってみました。全く期待していなかったのですが意外と見ごたえがあり、江戸時代に栄えた回船問屋がかなりの富豪生活をおくっていたことがわかる生活の資料や、使われていた船の展示など面白く見ることができました。そして、この北前船のことを書いた司馬遼太郎の本があると聞き、早速帰りに本屋さんで購入したのが「菜の花の沖」でした。

この話は、江戸時代後期に淡路島で生まれた高田屋嘉兵衛が、貧しく、悲惨な少年時代を送りながらも船

と海を愛し、賢くたくましく生き、夢をかなえ、北海で活躍する大商人にまでなっていく生涯が描かれています。嘉兵衛の少しほかの人とは違う感性や強い意思を持った生き方が読んでいて気持ちよくまたおもしろいところです。嘉兵衛を追って「村抜け」をしてくるおふさも可愛らしく、そして強い女性で、おふさが出てくるところは好きな場面です。

物語の初めのほうに淡路島、明石海峡、須磨、芦屋など兵庫から淀川、安治川、堺、摂津など大阪のなじみある地名が出てくるので位置関係や場所もよくわかり、なおさら面白く読み始めました。

江戸時代の島の生活、漁師の生活を具体的に知ったのも初めてでした。当時の蝦夷地の実態や北方領土、日露関係まで話は発展し、その中での嘉兵衛の生き様はまさに「快男児」と称されるものでした。司馬遼太郎だけでなく歴史ものは今まであまり読まなかったのですが、しばらく歴史ものにはまりそうです。

「北前船の里資料館」

JR「加賀温泉」駅よりタクシーで約10分、
またはキャンバス海まわり「加賀温泉駅前」
乗車約30分、「北前船の里資料館」下車、
徒歩1分



湖水誕生 曾野綾子
土木学会昭和61年度著作賞受賞作



中部地区 所 靖子

土木技術者女性の会にこの本を紹介するのは私で良いかと思いますが、かなり前の受賞作なので知っている人が少ないかもしれないということでお許し下さい。

昭和の終わり頃に名古屋市名東図書館で借りて読みました。それからは、平成6年頃まで、転勤に伴い各地の図書館でこの本を借りて愛読しました。この本を読んでから、著者の作品は外にいろいろ入手して読みました。この本は著者の作品の中ではどちらかと言えば「浪花節風」「演歌風」です。

著者あとがきによれば、「長野県の高瀬川に、128万キロワットの発電力をもつ東京電力のダムができる」過程を「47年の5月」から「約7年間」「あらゆる機会と季節に高瀬通いを続けた」取材による作品です。

「私の取材方法は、次のようなものである。工事を知るためには、日常的な作業を繰り返している現場に、ただひたすらいる、ということである。」という著者の姿勢に感動します。

大きな筋や人間の構成が、土木の現場を知る者にとって、「浪花節風」に感じられます。

ここから急に私事になってしまうのですが、この本に出会った頃は、国道管理の仕事をしていました。管理の仕事は、地味な、ほとんど誰にも知られないような仕事です。照明灯が切れているのを調べてきて、業者さんに発注して直す、舗装の穴を埋める、事故で壊れたガードレールを直す、等々。危険な箇所は緊急交通止めをする、位が目立つのかなあ、そういう仕事です。

同じ仕事は3年までというルールを自分で決めていて、転勤を目指していましたが、家族を抱えて何ができるか考えていました。

管理の仕事につく前は、道路と鉄道の立体交差で鉄道を立体化する仕事をしていました。

3年間で地元説明、測量、設計、工事説明、鉄道会社への工事委託をやって、着工を見てから転勤しました。

管理の仕事の次にやりたいことが、見つからないでいたときこの本を読みました。

土木の現場でもものをつくることは並大抵のことではないと思いました。でも町なかならば「明かりの仕事」で昼間勤務だし、土木のもののつくりを少し覗くことができるとも思いました。

それで、家から通う事のできる範囲で、道路建設をしている職場へ転勤したいと考えました。希望はなかなか叶いませんでしたが、偶然転勤することができました。

そこでは国道をどんどん造っていました。2車線の国道を6車線に拡げたり、4車線のバイパスを造ったり、年間30本40億円位の工事監督を3年間担当して、約10kmできました。出張所長と自分と現場技術員さん計5人のメンバーで監督したのです。町なかなので、いっぱい人も車も通っていました。夜間工事もあり、大変でした。人家の比較的小さい箇所でもトンネル工事もありました。現場を「少し覗く」なんてものではありませんでした。

でも、この小説の中の技術者にあるような病気もしませんでしたし、幸いに子供も普通に成長しました。

再び著者あとがきによれば「不測の事態が起きて、作品は約2年半以上中断せざるをえなくなった。」「しかし、昭和56年夏、私は白内障の手術を受け、両眼ともかつてないほどの視力を与えられた。」そうです。著者を身近に感じるのは、この手術をうけられた眼科というのが、名古屋人の言い伝えによると名古屋市北区にあるM眼科であったということです。

今読み返してみると、事業者の側に立って巨大ダムという一回勝負の仕事を、施工者、技術者の家族を含めた人間模様と、技術の醍醐味から語っていることが見事です。

自分自身の大変な時期に、図書館で借りて繰り返し読んだ本として、忘れられない小説です。

『あさ／朝』、『ゆう／夕』
文・詩／谷川俊太郎 写真／吉村和敏

北海道地区 辻 ゆう

私の『おすすめの1冊』は、1冊ではなく2冊対のようになったものですが、

文・詩／谷川俊太郎

写真／吉村和敏

『あさ／朝』、『ゆう／夕』

く、また、だんだんと藍色が濃くなっていくのを眺めているのが好きです。この本に載っている写真は外国の風景の写真ですが、私が思い出す朝と夕は、以前住んでいたところの景色です。蝦夷富士と呼ばれる山のちょうど西側に住んでいて、朝日はその山の後ろから



という本です。

“右から読むと詩集 左からみると絵本” というちょっと変わり者です。

オールカラーで、見開きで写真一つと詩や文が載っています。谷川俊太郎の物語は、子供の頃を思い出させてくれるようなやさしい気持ちになれるものです。吉村和敏の写真はカナダのきれいな風景の写真です。詩や文ももちろんいいのですが、私は写真が好きです。朝と夕方というのは、光が変わっていくこと感じられる時間だと思います。だんだんと色鮮やかになってい

昇ってきます。アマチュアカメラマンと思われる人達がカメラを構えて並ぶほどきれいな日の出を見ることが出来ました。また、その土地は山に囲まれたところだったので、西側の空だけ山がなく開けていました。丘陵地形に畑などが広がっていて、その向こうに日が沈んでいく様子は見飽きないものでした。

でも、いつも眺めていることも出来ません。そんなときにこの本を取り出します。一日の終わりに開き、昼間の忙しさなどで高ぶった気持ちなどを鎮めるのにいい本だと思います。

事務局関係メンバーの主な業務の紹介

担当者名	主な担当業務
副会長 佐藤 亜紀子 さとう あきこ	①会員情報管理（会員名簿管理、入退会手続き、会費請求） ②HP関係（名簿管理システム管理、コンテンツ見直し）
事務局長 須田 久美子 すだ くみこ	①会員情報管理（連絡窓口） ②HP関係（事務作業効率化の検討、コンテンツ見直し） ③就職パンフレット関係（販売窓口、全国建設研修センター座談会対応） ④その他（プレス対応等連絡窓口）
事務局スタッフ 柏倉 志乃 かしわくらしの	①役員会・総会関係（総会資料印刷・PDF化、役員名簿管理） ②会誌関係（印刷、PDF化、発送） ③その他（封筒印刷・管理）
事務局スタッフ 時弘 みどり ときひろ	①役員会・総会関係（総会資料作成） ②HP関係（コンテンツ見直し、メールニュース掲載）
事務局スタッフ 田村 真佐子 たむら まさこ	①資料管理（会に関連する新聞・雑誌掲載記事PDF化）
事務局スタッフ 島村 亜紀子 しまむら あきこ	①役員会・総会関係（役員会開催事務・資料作成・議事録作成）
事務局スタッフ 松本 香澄 まつもと かすみ	①就職パンフレット関係（全国建設研修センター座談会対応） ②その他（メールニュース作成事務・発信）
事務局スタッフ 金坂 果林 かなさか かりん	①HP関係（コンテンツ見直し） ②就職パンフレット関係（発送事務） ③資料管理（会に関連する新聞・雑誌掲載記事PDF化、電子資料管理） ④その他（土木学会CPD申請窓口）

郵便貯金口座を利用した「会費の自動引落システム」

土木技術者女性の会では、会費のお支払について、会員皆様の利便性の向上と事務局の業務削減のため、郵便貯金口座（ば・る・る）より郵便局自動払込みシステムを利用した「会費の自動引落システム」を導入し、原則として全会員の皆様の利用を推奨しております。

このシステムでは、一度、お申し込みいただくことで、その後の会費の払込みの手間が不要となります。また、多くの会員の皆様に利用していただくことで、メリットが向上します。どうかご理解頂き、ご利用くだされば幸いです。

自動引落しのメリット

1. 全国どこの郵便局にお持ちの郵便貯金口座（ば・る・る）でも引き落とし可能です。
2. 従来の振込み手数料（窓口の場合 100 円※）より安価（25 円）になります。
3. 郵便局に振り込みで行く手間が省けるとともに、振り込み忘れを防げます。

※平成 18 年 4 月 3 日より料金引き上げ

自動引落しの仕組み

年会費の振替日は毎年 5 月末日です（振替日が休日のときは翌営業日となります。振替日の前日までにご指定の口座にご準備下さい）。通帳には「土木技術者女性」と印字されます。

振替ができなかったとき

第二回振替日の6月15日に振替させていただきます（振替日が休日のときは翌営業日となります。振替日の前日までにご指定の口座にご準備下さい）。また、第一回、第二回ともに振替ができなかった場合は、後日、事務局よりお知らせいたしますので、同封する用紙を用い郵便局にて振り込んでいただきます。

申し込み方法

自動払込利用申込書に必要事項をご記入、捺印いただき、下記自動払込利用申込書送付先までご郵送下さい。申込書および申込書の記入例はウェブサイト (<https://womencivilengineers.secure-ymc.jp/>) 「会員のページ」をご覧ください。

自動払込利用申込書ご記入に際しての注意事項

1. 申込書の記載事項または捺印等に不備がありますと、ご提出いただきましても振替手続きが行えない場合がありますので、同封の記入例をご参照下さい。
2. 新規申込は、毎年3月末日（必着）までにお願ひ致します（締切日までにお申し出のない場合、会費請求書を4月中旬に郵送させていただきます）。
3. 自動引落しのご指定口座の変更連絡は、毎年3月末日（必着）までに自動払込利用申込書を事務局会費請求係宛にご郵送下さい。
4. 自動引落中止のご連絡は、必ず文書にて毎年3月末日（必着）までにお願ひ致します（以降着信分につきましては、返金等の手続は出来ませんのでご了承願ひます）。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		末日 受付締切り ・新規申込み ・変更 ・中止	新年度	末日 会費振替	15日 第2回振替						
次年度分利用申込書受付			次々年度分利用申込書受付								

自動払込利用申込書送付先

土木技術者女性の会 事務局会費請求係 佐藤亜紀子

〒165-0026 東京都中野区新井3-14-8 内山芸芸染色(株)内

口座番号等の情報管理について

事務局会費請求担当のみが取り扱うことを徹底し、会員情報の漏洩を防止致します。

問合せ先

ご不明な点は、事務局会費請求係までメールまたはファックスにてお問合せ下さい。

事務局会費請求係 E-mail: uchiama-kougei@io.ocn.ne.jp F A X : 03-3387-1519



◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

編集後記を書いているのは、3月上旬ですが、暖冬の影響で東京での桜の開花予想が3月中旬です。もう10年以上前になると思いますが、やはり3月中に花の見ごろがきてしまい、コンサルタントの悪夢の3月にどっぷり浸っていた私は花を全く見られなかった思い出があります。土木業界とも離れ、スローライフを楽しんでいますので、今年は花をゆっくり楽しめそうです。

発行がすっかり遅れてしまいましたが、総会特集号を何とか年度末に間に合うようにお届けできそうです。総会の報告も地区からの便りもかなり充実した内容になっています。パソコンで見えるようになったので、できるだけビジュアルに、カラフルに…と心がけましたが、いかがでしょうか？

ぜひ、感想をお聞かせください。



一足早い伊豆河津の桜です

「輪」第45号 編集担当

編集長 中村恭子

北海道地区 秋元ゆき子

関東地区 田村裕美

箱田裕子

中部地区 小畑敏子

関西地区 小林千恵

「輪」への投稿・ご意見は編集担当 中村恭子 (qzf03233@nifty.com) へ、
その他のお問い合わせ、ご意見は、事務局まで、お願いします。

〒107-8502 東京都港区赤坂6-5-30

鹿島建設株式会社 土木設計本部 須田久美子

TEL 03-6229-6654

FAX 03-5561-2156

E-mail suda@kajima.com

輪（りん） 2006年総会特集号（第45号）

2007年3月31日発行

土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers